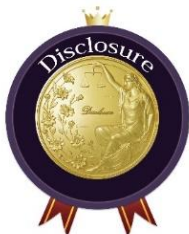


2021年2月5日

# 2021年3月期 第3四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一

ディスクロージャー  
2020年度 優良企業



公益社団法人  
日本証券アナリスト協会  
The Securities Analysts Association of Japan



**Nissan Chemical**  
CORPORATION

**Institutional  
Investor**

2020 ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM  
MOST HONORED COMPANY

**NISSAN CHEMICAL CORPORATION**

# 2020 3Q実績

(億円)

	2019実績 (A)			2020実績 (B)			前年同期比 (B)-(A)			2020予想 (C) (2020/11発表)		予想比 (B)-(C)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計	
売上高	965	415	1,380	945	437	1,382	-20	+22	+2	447	1,392	-10
営業利益 (1)	180	35	215	180	56	236	0	+21	+21	42	222	+14
営業外損益	6	5	11	2	2	4	-4	-3	-7	5	7	-3
経常利益 (1)	186	40	226	182	58	240	-4	+18	+14	47	229	+11
特別損益	9	0	9	11	0	11	+2	0	+2	0	11	0
純利益 (1)(2)	145	31	176	139	45	184	-6	+14	+8	37	176	+8
EBITDA (3)	227	63	290	228	83	311	+1	+20	+21	-	-	-
EPS (円/株) (1)	98.75	21.18	119.93	95.96	30.97	126.93	-2.79	+9.79	+7.00	-	-	-
売上高営業利益率 (1)	18.7%	8.4%	15.6%	19.0%	12.8%	17.0%	+0.3%	+4.4%	+1.4%	9.4%	15.9%	+3.4%
為替レート (円/ドル)	109	109	109	107	105	106				105	-	
原油(JCC)(ドル/bbl) (4)	69	66	68	36	44	38				-	-	

(1) 2019実績: 当時、償却期間5年で仮計算していた殺菌剤クインテック(キノキシフェン)事業の償却費を、会計監査後の確定値8.4年(加重平均)償却に修正。

これにより、2019年3Q当時の公表値から営業利益、経常利益を+0.8億円、純利益を+0.6億円修正。

セグメント別営業利益では調整額に反映。2019年3Qと4Qの内訳のみ修正、2019年上期および通期の値には影響なし。

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(4) 実績は財務省貿易統計ベース

# 2020 3Q決算 ハイライト

## 1. 3Q実績

### (1) 3Q単独

#### 1)前年同期比

- ◆営業利益は、前年同期35億円に対し、56億円と21億円の増益(前年同期比60%増)
  - －化学品は、メラミンは減収継続も、テピックの回復と原燃料価格の下落により増益
  - －機能性材料は、半導体の好調と無機の回復により増益
  - －農業化学品は、フルラネルの原薬出荷増(19年3Qは原薬出荷なし)を主因に増益
  - －医薬品は、ファインテック増収も、リバロの減収が大きく、減益
- ◆純利益は、前年同期31億円に対し、45億円と14億円の増益(前年同期比45%増)

#### 2) 業績予想(2020年11月発表、p2・p12・p30記載)比

- ◆営業利益は、業績予想42億円に対し、56億円と14億円の上ぶれ
  - －化学品は、高純度硫酸・環境化学品下ぶれも、原燃料価格下落、メラミン等回復により利益予想通り
  - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調と無機の回復により利益上ぶれ
  - －農業化学品は、グレーシア・アルテア等主要製品の下ぶれにより、利益下ぶれ
  - －医薬品は、ファインテックの下ぶれにより、利益下ぶれ
- ◆純利益は、業績予想37億円に対し、45億円と8億円の上ぶれ

### (2) 1-3Q合計 前年同期比




- ◆営業利益は、前年同期215億円に対し、236億円と21億円の増益(前年同期比9%増)
  - －化学品は、原燃料価格下落も、メラミン・テピック・環境化学品の減収が大きく、減益
  - －機能性は、ディスプレイ・半導体の好調と固定費の減少により増益
  - －農業化学品は、フルラネルの出荷減(業績予想比は計画通り)やグレーシアの減収、固定費の増加により減益
  - －医薬品は、ファインテック増収・固定費減少も、リバロの減収が大きく、減益
- ◆純利益は、昨年同期176億円に対し、184億円と8億円の増益(前年同期比4%増)










# 2020 3Q決算 ハイライト

## 2. 通期業績予想 (p30参照)

変更なし(3Q単独実績は予想を上回ったが、4Q単独は下ぶれる可能性あり)

## 3. 4Q単独セグメント売上高動向 (対p11記載の2020年11月発表4Qセグメント売上高予想)

	現時点で上ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で下ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で予想通りの可能性が大きいと推定

		対2020年11月発表 4Q単独セグメント売上高予想	売上動向
化学	ファインケミカル		テピック(一般・電材)・環境化学品は、数量減による下ぶれの可能性が大きいと推定
	基礎化学品		メラミン(輸出)は、需要増による上ぶれの可能性が大きいと推定
機能	ディスプレイ		サンエパーは、光IPSの3Qへの前倒し影響による下ぶれの可能性が大きいと推定
	半導体		ARC®は、主要顧客の高稼働維持による上ぶれの可能性が大きいと推定
	無機		スノーテックス(研磨)は、販売好調による上ぶれの可能性が大きいと推定
農化	農薬		ダイセン(p24参照)事業の買収・販売開始による上ぶれの可能性が大きいと推定
	フルララネル		ロイヤリティは、為替影響による下ぶれの可能性が大きいと推定
医薬	創薬		リバロ(輸出)は、数量減による下ぶれの可能性が大きいと推定
	ファインテック		ジェネリック品は、販売好調による上ぶれの可能性が大きいと推定

# 2020 3Q実績

## <前年同期比>

(売上高) ◆増収	+22 億円	(+5%)	(増収) 機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 化学、医薬
(営業利益) ◆増益	+21 億円	(+60%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減益) 医薬
(経常利益) ◆増益	+18 億円	(+48%)	
(純利益) ◆増益	+14 億円	(+45%)	
(EPS) ◆増加	+9.79円	(+46%)	

## <2020/11業績予想比>

(売上高) ◆下ぶれ	-10 億円	(上ぶれ) 化学、機能性材料 (下ぶれ) 農業化学品、医薬、卸売
(営業利益) ◆上ぶれ	+14 億円	(上ぶれ) 機能性材料、卸売 (予想通り) 化学 (下ぶれ) 農業化学品、医薬
(経常利益) ◆上ぶれ	+11 億円	
(純利益) ◆上ぶれ	+8 億円	

# 2020 1-3Q実績

## <前年同期比>

(売上高) ◆増収	+2 億円	(+0%)	(増収) 機能性材料、卸売 (減収) 化学、農業化学、医薬
(営業利益) ◆増益	+21 億円	(+9%)	(増益) 機能性材料、卸売 (減益) 化学、農業化学、医薬
(経常利益) ◆増益	+14 億円	(+6%)	
(特別損益) ◆増益	+2 億円		2020 1-3Q (特別損益) +11億円(有価証券売却益11億円・売却額23億円、 13銘柄(うち10銘柄保有全株数売却))
			2019 1-3Q (特別損益) +9億円
(純利益) ◆増益	+8 億円	(+4%)	
(EPS) ◆増加	+7.00円	(+6%)	

## <株主還元(年間予想)>

- (配当) ◆中間46円、期末52円、配当性向45.1%  
(前年比: 中間4円増配、期末4円増配 2020/11業績予想比: 変更なし)
- (自己株式取得) ◆100億円 ・70億円、1,334千株取得(2020年5月~7月)  
・30億円、800千株取得予定(2021年2月~4月予定)  
(前年比: 増減なし、2020/11業績予想比: 30億円増額)
- (自己株式消却) ◆1百万株消却(2020年8月)
- (総還元性向) ◆配当98円と自己株取得100億円に基づけば76.7%(2019年度実績75.1%)

# 2020 1-3Q実績 営業外損益・特別損益

(億円)

	2019実績			2020実績		
	上期	3Q	1-3Q合計	上期	3Q	1-3Q合計
営業外収益	13.6	5.5	19.1	9.5	6.4	15.9
受取利息・配当金	3.7	3.1	6.8	3.5	3.6	7.1
持分法投資損益	4.0	1.2	5.2	2.6	1.7	4.3
為替差益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	1.2	7.1	3.4	1.1	4.5
営業外費用	7.4	1.3	8.7	7.6	4.3	11.9
支払利息	0.7	0.3	1.0	0.5	0.1	0.6
固定資産処分損	2.0	1.0	3.0	2.9	1.4	4.3
為替差損	2.2	-0.8	1.4	2.6	1.9	4.5
その他	2.5	0.8	3.3	1.6	0.9	2.5
特別利益 (1)	16.9	0.4	17.3	10.9	-0.3	10.6
特別損失	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0

(1) 投資有価証券売却損益

# 2020 1-3Q実績 キャッシュフロー

(億円)

	2019実績	2020実績
	1-3Q合計	1-3Q合計
営業キャッシュ・フロー	349	346
税金等調整前純利益	234	250
投資有価証券売却損益(－は益)	-17	-11
減価償却費(1)(2)	75	75
法人税等の支払	-82	-108
運転資金増減他(2)	139	140
投資キャッシュ・フロー	-129	-109
設備投資	-66	-60
投資有価証券購入・売却	26	22
その他(3)	-89	-71
財務キャッシュ・フロー	-400	-338
株主還元(配当)	-124	-136
株主還元(自己株取得)	-83	-70
借入金増減額	-167	-132
その他(4)	-26	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	-2	0
現金及び現金同等物の増減額	-182	-101
現金及び現金同等物の残高	180	206

(1) のれん償却費を含む

(2) 2019実績: クインテック償却費再計算影響により、修正(詳細はp2)

(3) 2019実績: クインテック事業買収-63、他-26、2020実績: ダイセン事業買収-54、他-17

(4) 2019実績: 自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出-17、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得-8、他-1



# 貸借対照表 (1)

	2019/12	2020/3 (A)	2020/12 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,258	1,542	1,305	-237
現金預金	180	306	206	-100
売上債権	478	725	473	-252
たな卸資産	508	439	548	+109
その他	92	72	78	+6
固定資産	991	953	1,033	+80
有形固定資産	526	516	515	-1
無形固定資産	75	74	123	+49
投資有価証券	336	309	343	+34
その他	54	54	52	-2
資産合計	2,249	2,495	2,338	-157

\*投資有価証券内訳

上場株式	239	207	238	+31
非上場株式	25	26	27	+1
関係会社株式	72	76	78	+2
合計	336	309	343	+34

(億円)

	2019/12	2020/3 (A)	2020/12 (B)	増減 (B) - (A)
負債	478	640	469	-171
買入債務	196	169	173	+4
借入金	99	246	113	-133
その他	183	225	183	-42
純資産	1,771	1,855	1,869	+14
株主資本	1,656	1,771	1,748	-23
その他有価証券 評価差額金	100	78	108	+30
為替換算 調整勘定	-4	-9	-4	+5
非支配株主持分	16	16	17	+1
退職給付に係る 調整累計額	3	-1	0	+1
負債・純資産 合計	2,249	2,495	2,338	-157

- ・自己資本比率 78.0% 73.7% 79.2%
  - ・D/Eレシオ (1) -4.9% -3.4% -5.3%
  - ・株主資本増減-23 = 純利益184 - 配当その他207
- (1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

(1) 2019/12: クインテック償却費再計算影響により、修正(詳細はp2)

(白紙)

# 2019-20 セグメント別売上高<sup>(1)(2)(3)</sup>

(億円)

	2019実績(A)			2020実績(B)			前年同期比 (B)-(A)			2020予想(C) (2020/11発表)		予想比 (B)-(C)	2020予想 (2020/11発表)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計		4Q
化学品	168	87	255	147	83	230	-21	-4	-25	81	228	+2	89
ファイン	52	26	78	54	28	82	+2	+2	+4	29	83	-1	35
基礎	116	61	177	93	55	148	-23	-6	-29	52	145	+3	54
機能性	314	170	484	346	192	538	+32	+22	+54	175	521	+17	177
農業化学	279	55	334	257	63	320	-22	+8	-14	82	339	-19	307
医薬	34	16	50	30	14	44	-4	-2	-6	16	46	-2	22
創薬	21	9	30	15	6	21	-6	-4	-9	6	21	0	9
FT	13	6	19	15	8	23	+2	+2	+4	10	25	-2	13
卸売	333	175	508	337	178	515	+4	+3	+7	179	516	-1	175
その他	98	51	149	94	68	162	-4	+17	+13	64	158	+4	76
調整額	-261	-139	-400	-266	-161	-427	-5	-22	-27	-150	-416	-11	-143
<b>合計</b>	<b>965</b>	<b>415</b>	<b>1,380</b>	<b>945</b>	<b>437</b>	<b>1,382</b>	<b>-20</b>	<b>+22</b>	<b>+2</b>	<b>447</b>	<b>1,392</b>	<b>-10</b>	<b>703</b>

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキソコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

# 2019-20 セグメント別営業利益<sup>(1)(2)(3)</sup>

(億円)

	2019実績 (A)			2020実績 (B)			前年同期比 (B)-(A)			2020予想 (C) (2020/11発表)		予想比 (B)-(C)	2020予想 (2020/11発表)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計		4Q
化学	3	5	8	-1	7	6	-4	+2	-2	7	6	0	6
機能性	84	47	131	107	63	170	+23	+16	+39	49	156	+14	50
農業化学	94	-18	76	78	-13	65	-16	+5	-11	-7	71	-6	116
医薬	5	1	6	0	0	0	-5	-1	-6	1	1	-1	5
創薬	0	-2	-1	-4	-4	-7	-4	-2	-6	-4	-7	0	-1
FT	5	2	7	4	3	7	-1	+1	0	4	8	-1	6
卸売	10	6	16	12	7	19	+2	+1	+3	5	17	+2	4
その他	1	1	2	0	4	4	-1	+3	+2	1	1	+3	5
調整額	-17	-7	-24	-16	-12	-28	+1	-5	-4	-14	-30	+2	-5
<b>合計</b>	<b>180</b>	<b>35</b>	<b>215</b>	<b>180</b>	<b>56</b>	<b>236</b>	<b>0</b>	<b>+21</b>	<b>+21</b>	<b>42</b>	<b>222</b>	<b>+14</b>	<b>181</b>

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

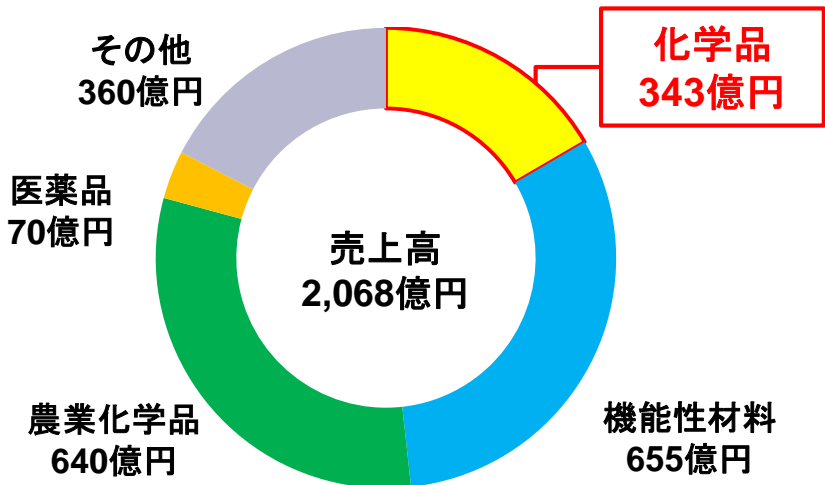
3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

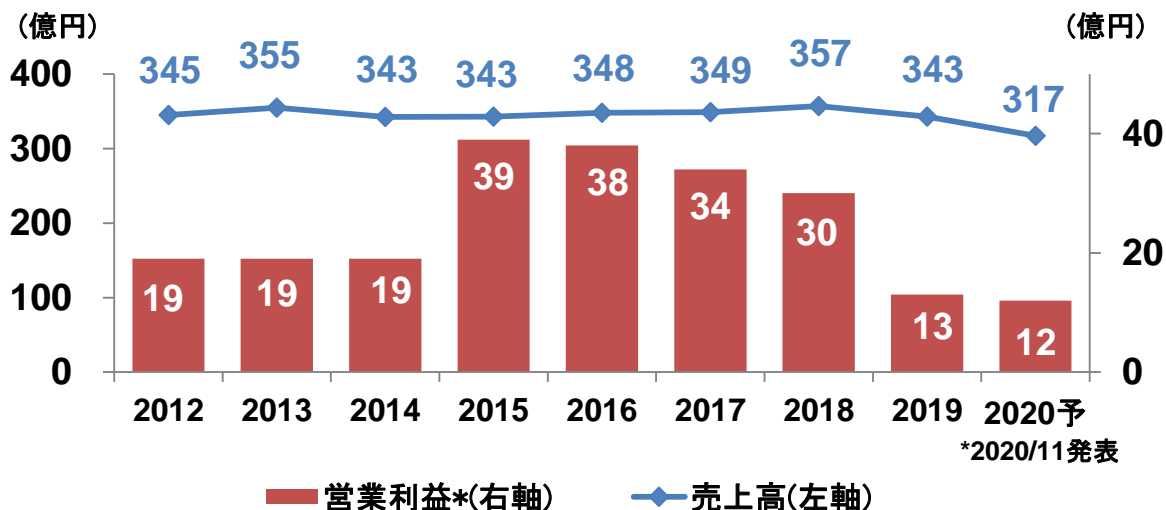
(3) 2019年3Q調整額:クインテック償却費修正(p2参照)

# 化学品セグメント概況－(A) 業績

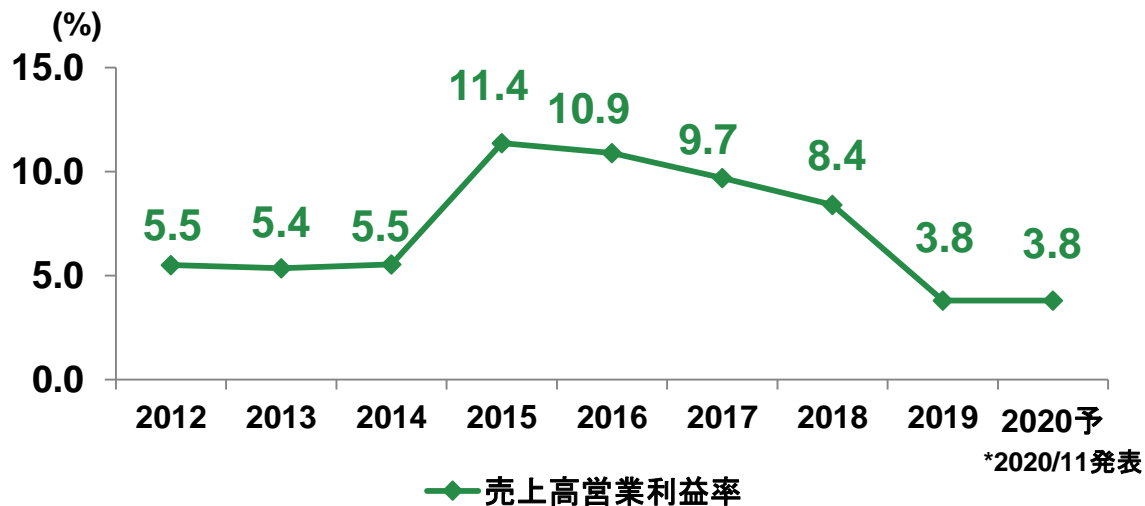
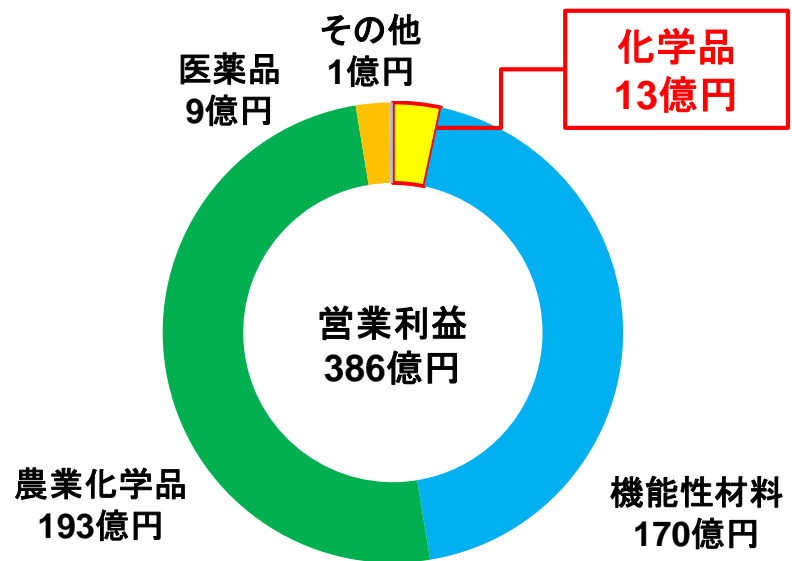
## 1. 2019年度 売上高構成



## 3. 化学品業績推移



## 2. 2019年度 営業利益構成(新方式\*)



\*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p12参照)

# 化学品セグメント概況-(B) 2020 1-3Q 主要製品売上高成長率

主要製品		前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
		3Q	1-3Q	
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルターレジストインキ、LED封止材) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	+10%	-3%	上ぶれ
環境化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌ酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	+2%	-6%	下ぶれ
ファインケミカル合計		+14%	+6%	下ぶれ

上記2製品グループの2020年1-3Q実績ファインケミカル売上高に占める割合:74%

主要製品		前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
		3Q	1-3Q	
メラミン	◆(用途) 接着剤、化粧板	-37%	-49%	上ぶれ
尿素・ アドブルー	◆(用途) 接着剤、 ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	+3%	-2%	上ぶれ
高純度硫酸	◆(用途) 半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	+8%	+12%	下ぶれ
硝酸製品	◆硝酸、亜硝酸・硝酸曹達 (用途) 金属溶解・表面処理、消泡剤等	+11%	+2%	上ぶれ
基礎化学品合計		-11%	-17%	上ぶれ

上記4製品グループの2020年1-3Q実績基礎化学品売上高に占める割合:53%

\*2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を 基礎化学品からファインケミカルへ移管している

# 化学品セグメント概況-(C) 収益動向

(億円)

	2019	2020	前年比	2020予(C)	予想比	2019	2020	前年比	2020予
	実績(A)	実績(B)	(B) - (A)	(20/11発表)	(B) - (C)	実績(D)	実績(E)	(E) - (D)	(20/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	87	83	-4	81	+2	255	230	-25	89
ファイン	26	28	+2	29	-1	78	82	+4	35
基礎	61	55	-6	52	+3	177	148	-29	54
営業利益	5	7	+2	7	0	8	6	-2	6

\*2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を 基礎化学品からファインケミカルへ移管している。

FO売上高実績は2019年度3Q:4億円、2020年度3Q:3億円、2019年度1-3Q:11億円、2020年度1-3Q:9億円。

## 2020 3Q実績

### <前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(海外)・電材(需要回復)、環境
- ◆ 売上高増加(FO\*移管プラス影響含む)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 尿素・アドブルー、高純度硫酸、硝酸製品
- ◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)・国内
- ◆ 原燃料安
- ◆ 売上高減少(FO\*移管マイナス影響含む)、営業利益増加
- (セグメント) ◆ 売上高-4億円、営業利益+2億円

## 2020 3Q実績

### <2020/11業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(海外)・電材(車載向け需要回復)
- ◆ 売上高下ぶれ: 環境、ファインオキシ他
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン国内・輸出(需要回復傾向)、
- 尿素・アドブルー、硝酸製品
- ◆ 売上高下ぶれ: 高純度硫酸
- ◆ 原燃料安
- ◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高+2億円、営業利益予想通り

## 2020 1-3Q実績

### <前年同期比>

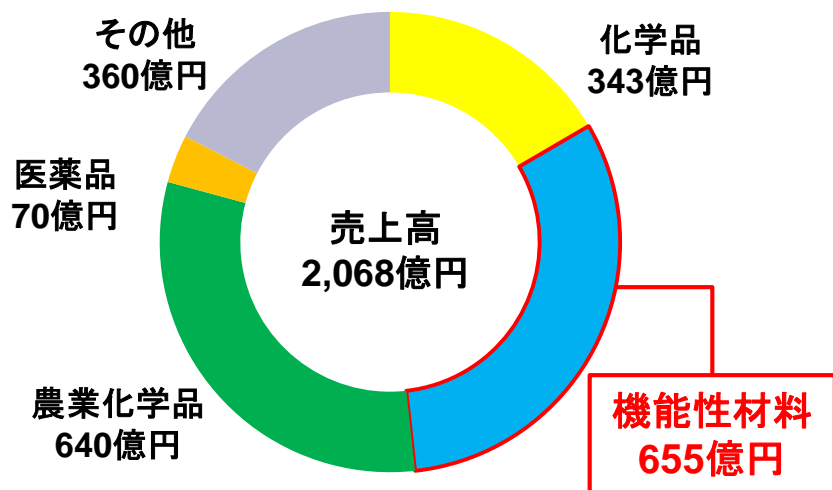
- (ファイン) ◆ 減収: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、
- 環境(輸出増収、国内プール・SPA向け減収)
- ◆ 原燃料安
- ◆ 売上高増加(FO\*移管プラス影響含む)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)、硝酸製品
- ◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)・国内、
- 尿素・アドブルー
- ◆ 原燃料安
- ◆ 売上高減少(FO\*移管マイナス影響含む)、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高-25億円、営業利益-2億円

(白紙)

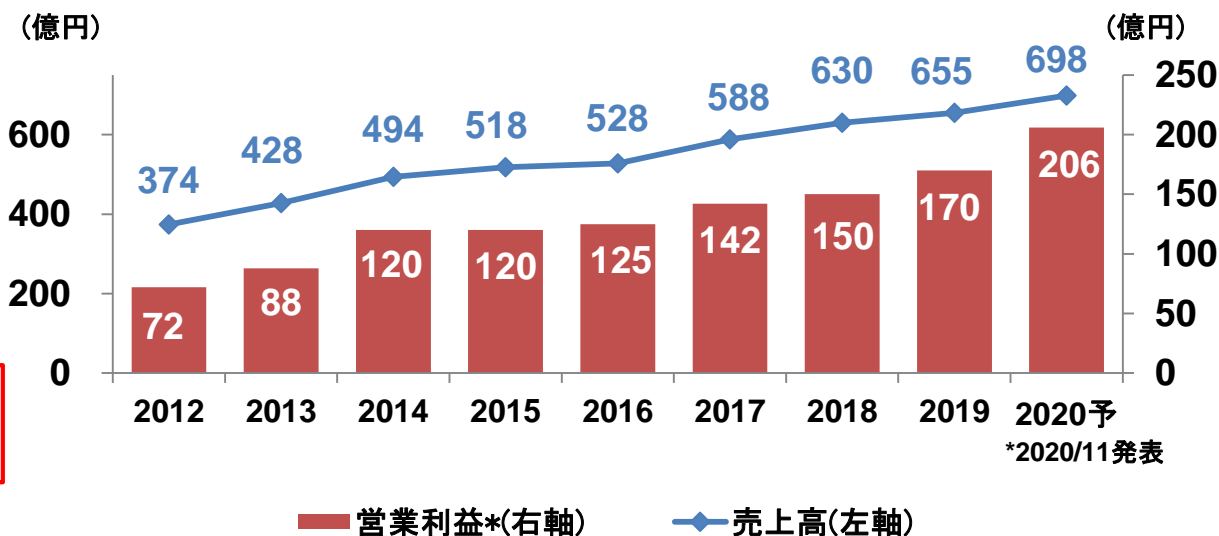


# 機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

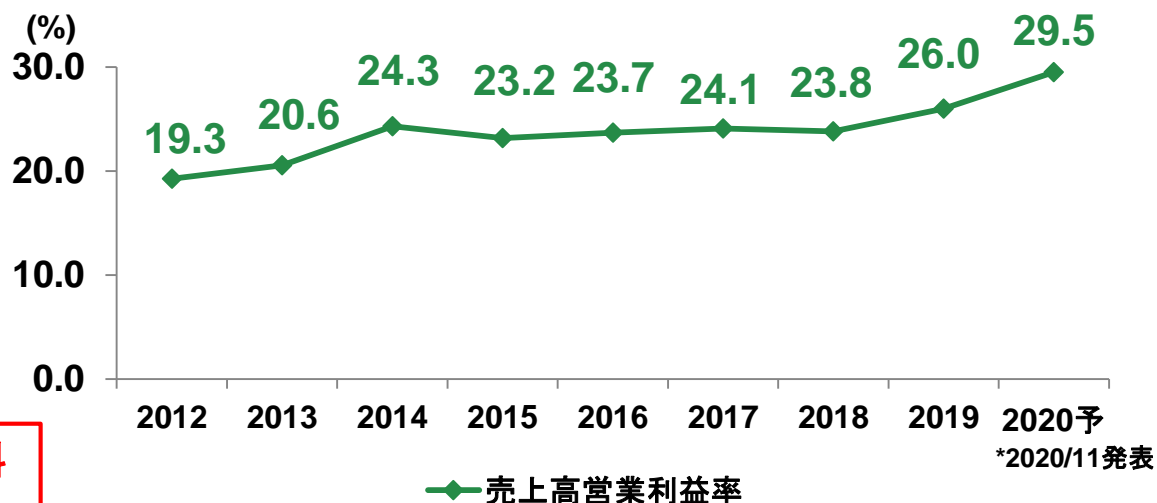
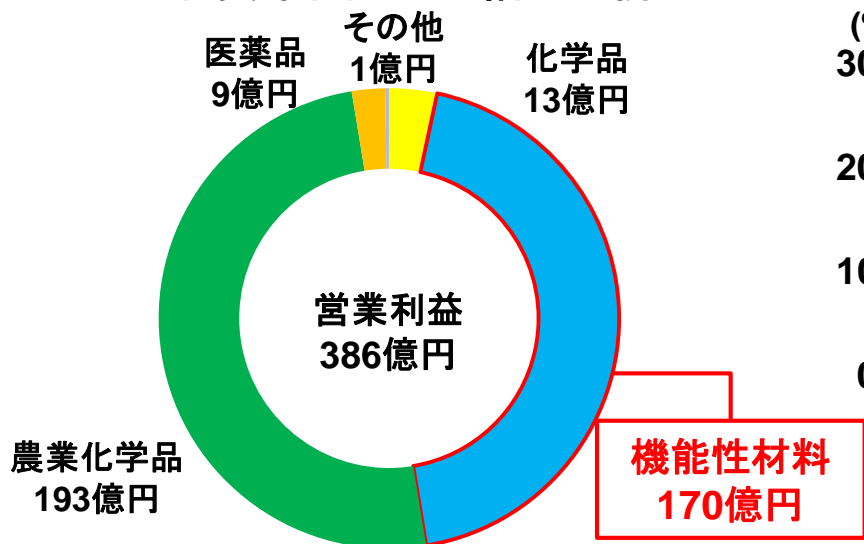
## 1. 2019年度 売上高構成



## 3. 機能性材料業績推移

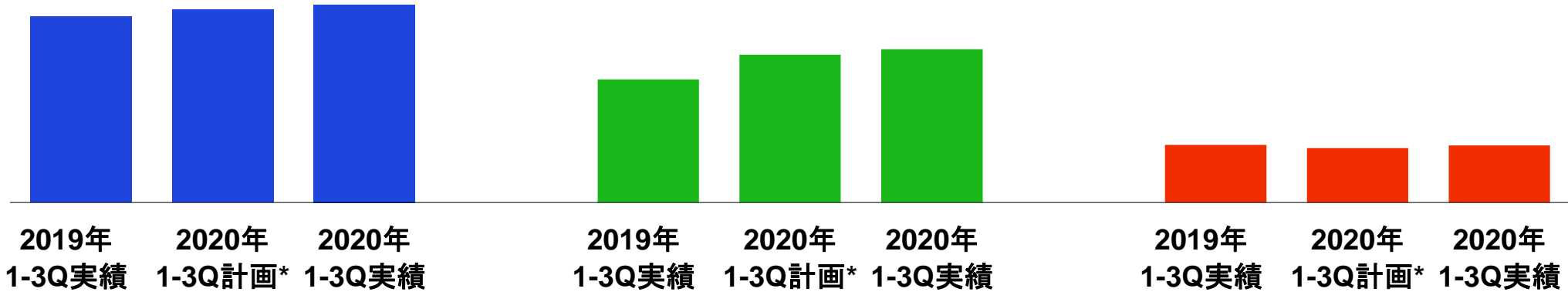


## 2. 2019年度 営業利益構成 (新方式\*)



\*2019年度より新方式セグメント別営業利益 (p12参照)

# 機能性材料セグメント概況 – (B) 2020 1-3Q 売上高構成 \*2020/11作成、非開示



## < ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

## < 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材  
 多層材料：半導体用多層プロセス材料 (OptiStack®)

その他  
 新材料：EUV材料、三次元実装材  
 CMOSイメージセンサー材料等

## < 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)  
 特殊鋼板

オルガノゾル・  
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス探掘効率向上材

# 機能性材料セグメント概況- (C) 2020 1-3Q 主要製品売上高成長率

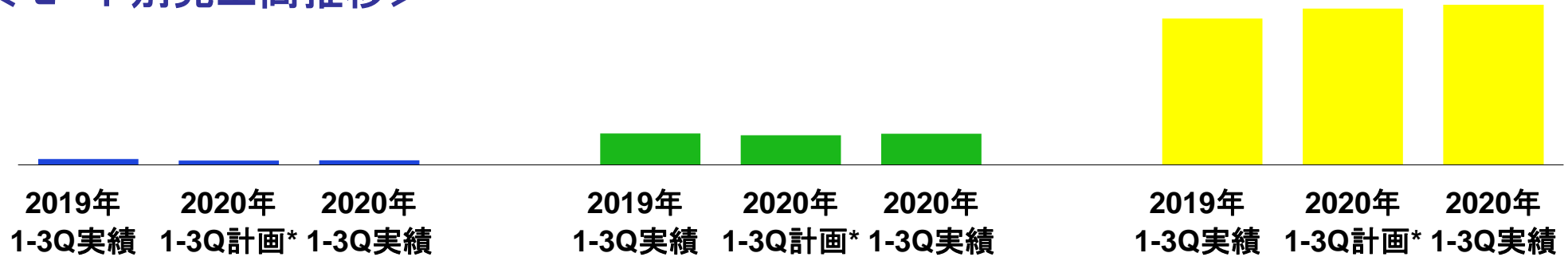
主要製品	前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
サンエバー	+5%	+7%	上ぶれ
ディスプレイ材料合計	+5%	+6%	上ぶれ
KrF (ARC®)	+18%	+15%	上ぶれ
ArF (ARC®)	+20%	+18%	上ぶれ
ARC® 小計	+21%	+18%	上ぶれ
その他半導体材料 合計 (1)	+30%	+43%	上ぶれ
半導体材料合計	+23%	+24%	上ぶれ

主要製品	前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
スノーテックス	+9%	+4%	上ぶれ
オルガノゾル・ モノマーゾル	+24%	-3%	上ぶれ
オイル&ガス材料	+112%	+2%	上ぶれ
無機コロイド合計	+15%	-1%	上ぶれ

(1) 多層材料 (OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

# 機能性材料セグメント概況 – (D) サンエバー

## <モード別売上高推移>



### < TN\*\* >

主要用途：PC、モニター

### < VA\*\* >

テレビ

### < IPS\*\* >

スマートフォン、タブレット、PC、モニター

\*2020/11作成、非開示

\*\*TN：Twisted Nematic, VA：Vertical Alignment, IPS：In-Plane Switching

## <モード別売上高成長率>

	前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
TN	↘↘	↘↘↘	上ぶれ
VA	↗	↘	上ぶれ
IPS	↗	↗	上ぶれ
合計	+5%	+7%	上ぶれ

### 前年同期比売上高増減

+10～+19%	↗↗
+0～+9%	↗
-0～-9%	↘
-10～-19%	↘↘
-20～-29%	↘↘↘

# 機能性材料セグメント概況 – (E) 収益動向

(億円)

	2019 実績(A)	2020 実績(B)	前年比 (B) - (A)	2020予(C) (20/11発表)	予想比 (B) - (C)	2019 実績(D)	2020 実績(E)	前年比 (E) - (D)	2020予 (20/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	170	192	+22	175	+17	484	538	+54	177
営業利益	47	63	+16	49	+14	131	170	+39	50

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

## 2020 3Q実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、減益  
光IPS増収(非スマホ好調)、  
ラビングIPS減収、VA増収、TN減収  
固定費増加2億円
- ◆ 半導体増収、増益  
ARC®増収、  
その他増収(多層材料・その他新材料増収)  
半導体市場全般好調、固定費減少1億円
- ◆ 無機増収、増益  
スノーテックス増収  
(一般用途横ばい・研磨材増収)、  
オルガノ・モノマーゾル増収、  
オイル&ガス材料増収(新規受注)  
固定費減少1億円
- ◆ 売上高+22億円、営業利益+16億円

## 2020 3Q実績

<2020/11業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ  
光IPS上ぶれ(スマホ、非スマホ上ぶれ)、  
ラビングIPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、  
VA上ぶれ、TN上ぶれ
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ  
ARC®上ぶれ、  
その他上ぶれ  
(多層材料・その他新材料上ぶれ)、  
半導体市場全般好調  
固定費下ぶれ1億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ  
スノーテックス上ぶれ  
(一般用途上ぶれ・研磨材上ぶれ)、  
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ、  
オイル&ガス材料上ぶれ(新規受注)
- ◆ 固定費下ぶれ合計1億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+17億円、営業利益+14億円

## 2020 1-3Q実績

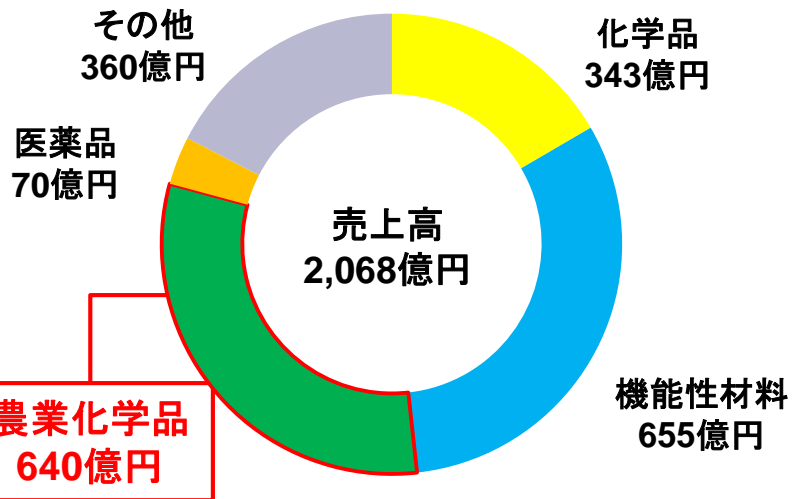
<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益  
光IPS増収(非スマホ好調)、  
ラビングIPS減収  
(非スマホ好調も光へシフト)、  
VA減収、TN減収、固定費増加4億円
- ◆ 半導体増収、増益  
ARC®増収、  
その他増収(多層材料・その他新材料増収)  
半導体市場全般好調  
固定費減少7億円
- ◆ 無機減収、増益  
スノーテックス増収  
(一般用途減収・研磨材増収)、  
オルガノ・モノマーゾル減収、  
オイル&ガス材料増収(新規受注)  
固定費減少4億円
- ◆ 固定費減少合計8億円(共通費用減少1億円含む)
- ◆ 売上高+54億円、営業利益+39億円

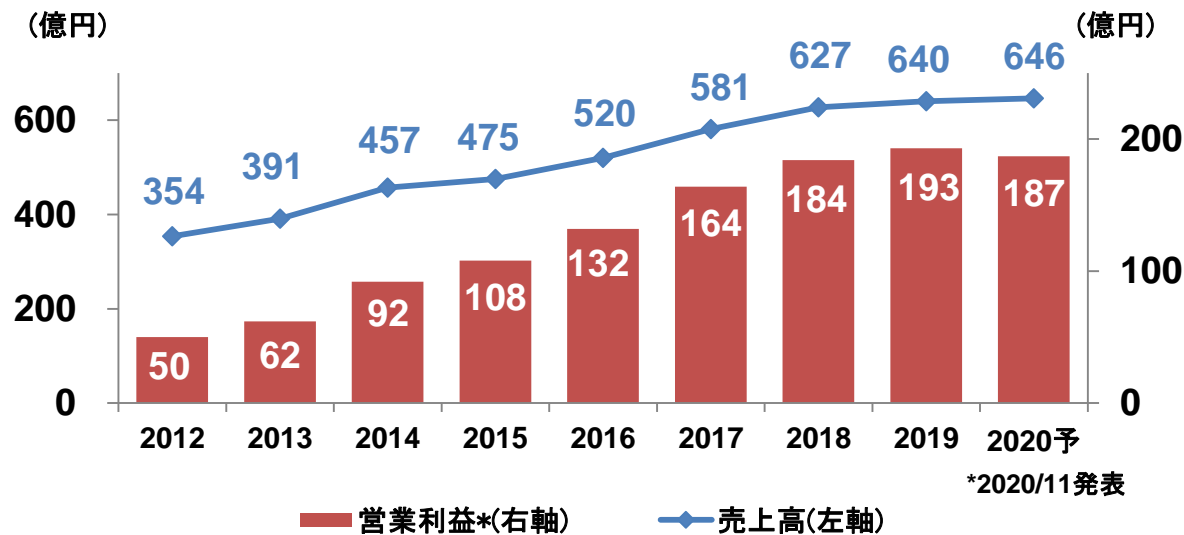
(白紙)

# 農業化学品セグメント概況- (A) 業績

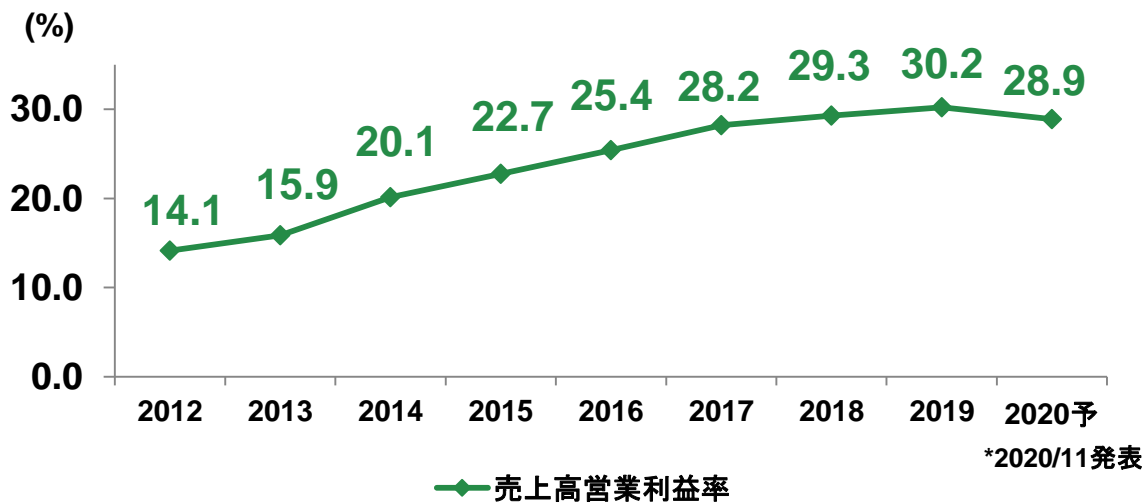
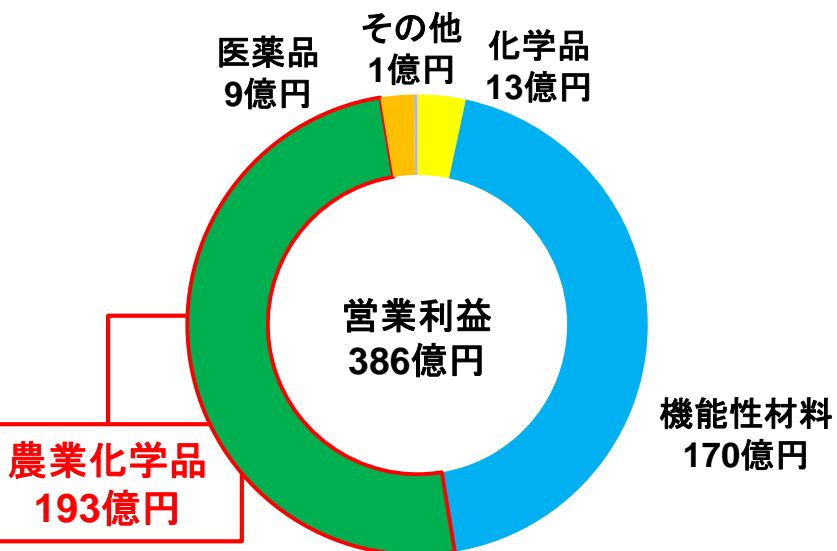
## 1. 2019年度 売上高構成



## 3. 農業化学品業績推移



## 2. 2019年度 営業利益構成(新方式\*)



\*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p12参照)

# 農業化学品セグメント概況- (B) 2020 1-3Q 主要製品売上高成長率(値引前)

主要製品名 (2019年 売上高順)	種類	前年同期比	計画比
		1-3Q	(20/11作成、非開示)
フルラネル	動物薬	-15%	計画通り
ラウンドアップ(1)	除草	+3%	上ぶれ
アルテア	除草	+5%	下ぶれ
タルガ	除草	-1%	下ぶれ
グレーシア	殺虫	-22%	下ぶれ
パーミット	除草	+5%	上ぶれ
ライメイ	殺菌	-5%	下ぶれ
クインテック	殺菌	+2,800%以上	下ぶれ
セグメント合計	-	-4%	下ぶれ

## ◆国内農薬販売額第1位 (2017年10月～2018年9月)

⇒2020年1月22日開催 ラウンドアップの現状説明会資料参照

[https://www.nissanchem.co.jp/news\\_release/news/n2020\\_01\\_23.pdf](https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf)

(1) ラウンドアップALは2020年度1-3Qラウンドアップ売上高全体の29%を占める

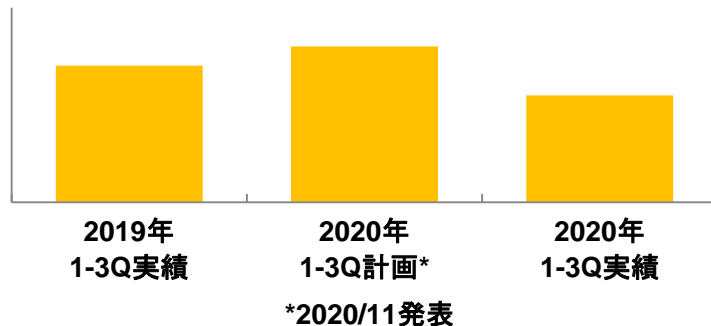
## ◆クインテック(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収
- ・2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

## ◆ダイセン(マンゼブ)(新規記載)

- ・2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収
- ・2021年1月国内販売開始
- ・ダイセン = マンゼブ(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹(特にりんご、かんきつ)・野菜用保護殺菌剤、耐雨性に優れる

## ◆グレーシア売上高 2020 1-3Q実績



グレーシア売上高成長予想は、2021年3月期 第2四半期決算説明資料 (2020年11月12日公表) p36参照

### <ダイセン収益予想>

2020年12月21日プレスリリース記載 (億円、概数)

年度	営業利益	償却前営業利益
2020	0	2
2021	0	10
2022-26計	10	50

償却5年定額(監査前のため変更可能性有り)



# 農業化学品セグメント概況- (C) フルララネル



## ◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社\*に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国で発売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり

・UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

\*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の  
MSD Animal Health 社の略称

## ◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間\*\*にわたって持続する

\*\*クリイロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市

2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

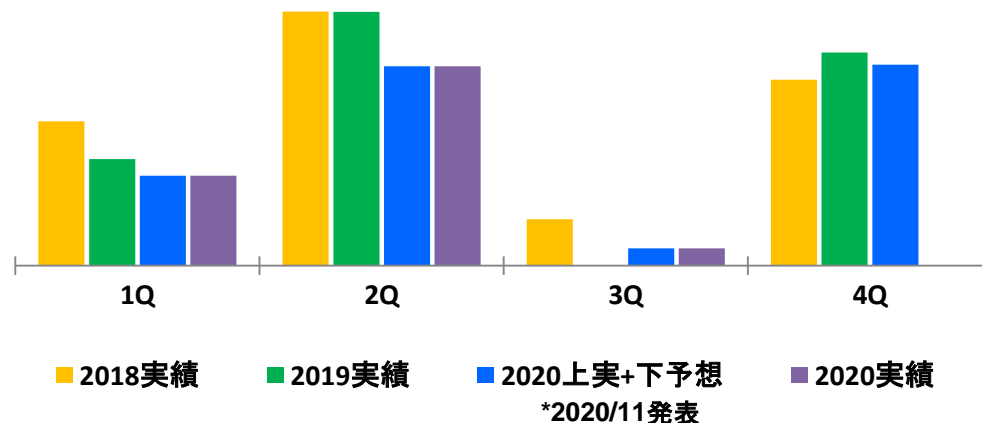
猫向け

2016年7月欧州、以降米国、日本等で上市

犬向け

2017年1月米国・欧州等で上市、

2020年8月日本販売承認



## ◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月欧州、以降米国等で上市、2020年8月日本販売承認

## ◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州、以降韓国、中東等で上市

# 農業化学品セグメント概況- (D) 収益動向

(億円)

	2019 実績(A)	2020 実績(B)	前年比 (B) - (A)	2020予(C) (20/11発表)	予想比 (B) - (C)	2019 実績(D)	2020 実績(E)	前年比 (E) - (D)	2020予 (20/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	55	63	+8	82	-19	334	320	-14	307
営業利益	-18	-13	+5	-7	-6	76	65	-11	116

## 2020 3Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収:フルララネル(19年3Q出荷なし)、ラウンドアップ(ML:4Qからの前倒し)、パーミット(輸出)、タルガ(輸出)、クインテック(輸出)
- ◆ 減収:グレーシア(国内・輸出)、アルテア(国内・輸出)、ライメイ(輸出)
- ◆ 固定費減少1億円
- ◆ 売上高+8億円、営業利益+5億円

## 2020 3Q実績

<2020/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:ラウンドアップ(ML:4Qからの前倒し)、パーミット(輸出)
- ◆ 売上高予想通り:フルララネル
- ◆ 売上高下ぶれ:グレーシア(国内・輸出)、ライメイ(輸出)、クインテック(輸出)、アルテア(国内・輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費下ぶれ2億円(プラス影響)
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス影響)
- ◆ 売上高-19億円、営業利益-6億円

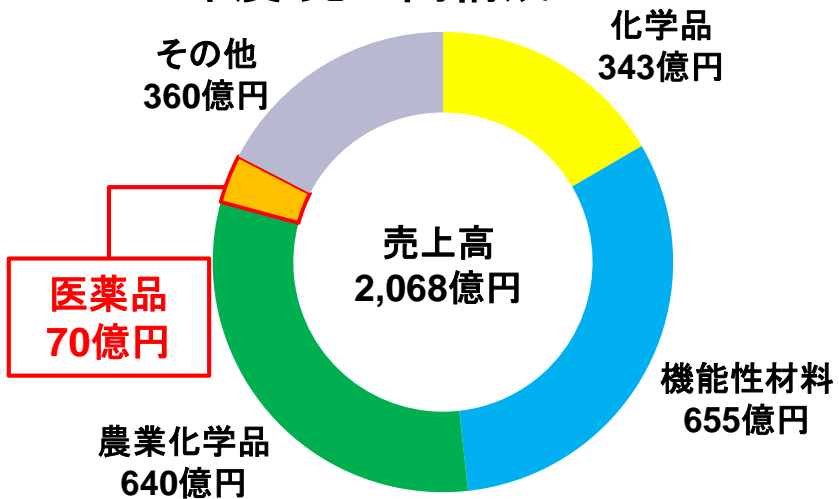
## 2020 1-3Q実績

<前年同期比>

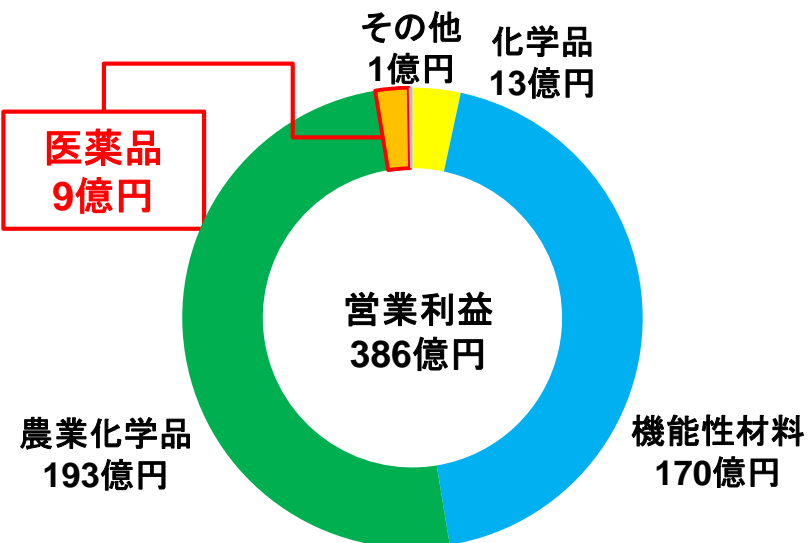
- ◆ 増収:グレーシア(輸出)、クインテック(輸出)、ラウンドアップ(ML:減収、AL:高価格品ALⅢシフトで増収)、アルテア(国内)、パーミット(輸出)
- ◆ 減収:フルララネル(ブラベクト在庫調整影響)、グレーシア(国内、害虫発生小)、ライメイ(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費増加5億円(うちクインテック償却費増加5億円)
- ◆ 売上高-14億円、営業利益-11億円

# 医薬品セグメント概況 – (A) 業績

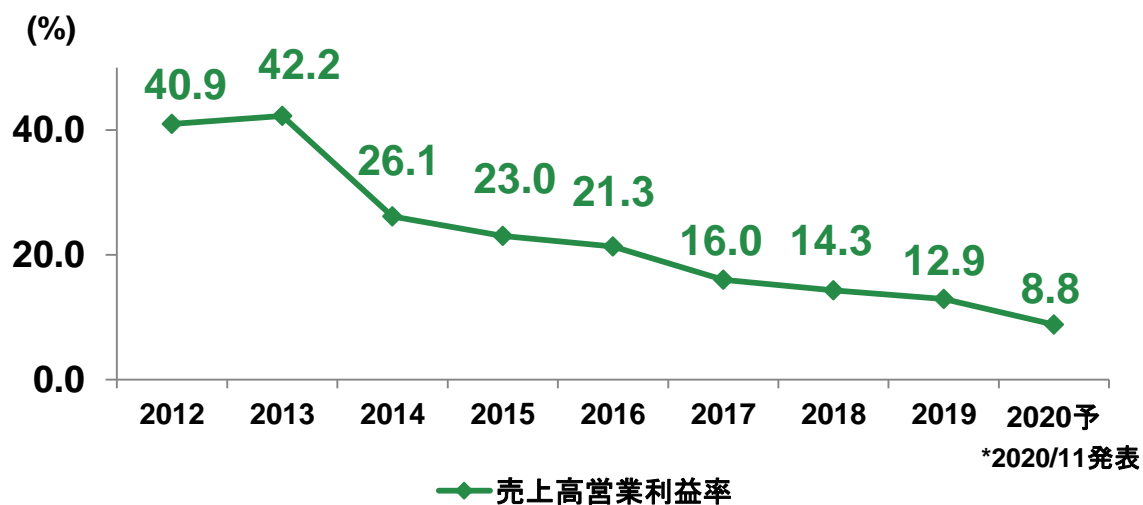
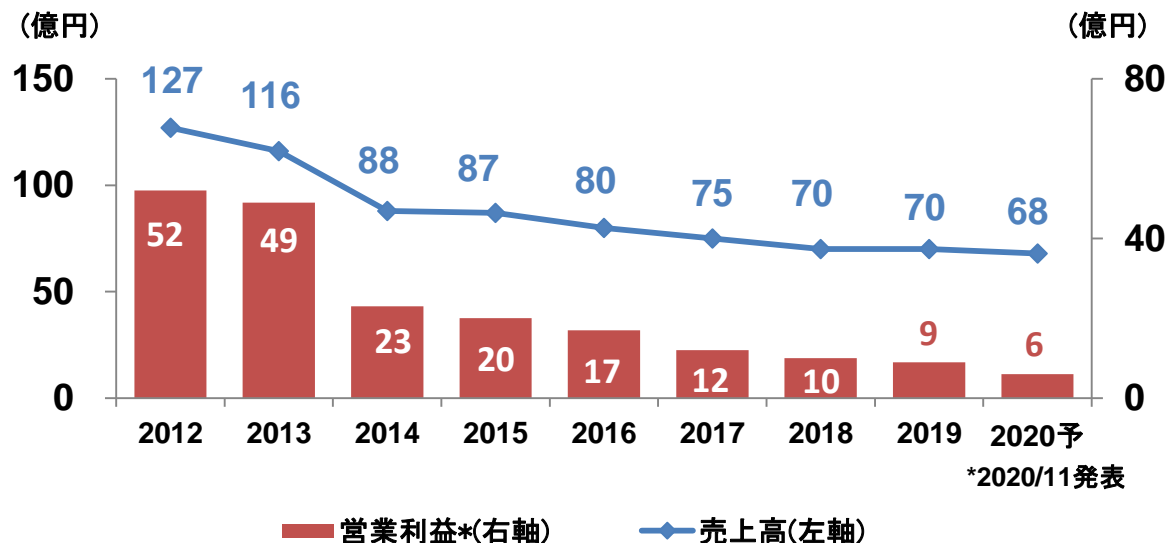
## 1. 2019年度 売上高構成



## 2. 2019年度 営業利益構成(新方式\*)



## 3. 医薬品業績推移



\*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p12参照)

# 医薬品セグメント概況-(B) 2020 1-3Q 主要製品売上高成長率、収益動向

## <医薬品収益動向>(1)

(億円)	2019 実績(A)	2020 実績(B)	前年比 (B) - (A)	2020予(C) (20/11発表)	予想比 (B) - (C)	2019 実績(D)	2020 実績(E)	前年比 (D) - (E)	2020予 (20/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	15.3	13.9	-1.4	15.5	-1.6	49.6	44.2	-5.4	22.1
創薬	9.3	5.8	-3.5	5.6	+0.2	30.3	21.1	-9.2	9.1
FT	6.0	8.1	+2.1	9.9	-1.8	19.3	23.1	+3.8	13.0
営業利益	0.2	-0.4	-0.6	0.6	-1.0	5.5	-0.1	-5.6	4.7
創薬	-1.7	-3.6	-1.9	-3.5	-0.1	-1.2	-7.2	-6.0	-1.4
FT	1.9	3.2	+1.3	4.1	-0.9	6.7	7.1	+0.4	6.1

(1) p11,12,41,42では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

## <主要製品売上高成長率>

	前年同期比		計画比 (20/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
リバロ	-37%	-31%	上ぶれ
ファインテック	+36%	+20%	下ぶれ
セグメント合計	-9%	-11%	下ぶれ

### 2020 3Q実績

#### <前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)  
◆ 売上高-3.5億円、営業利益-1.9億円
- (FT) ◆ 増収  
◆ 売上高+2.1億円、営業利益+1.3億円
- (合計) ◆ 売上高-1.4億円、営業利益-0.6億円

### 2020 3Q実績

#### <2020/11業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ  
(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)  
◆ 売上高+0.2億円、営業利益-0.1億円
- (FT) ◆ 売上高下ぶれ  
◆ 売上高-1.8億円、営業利益-0.9億円
- (合計) ◆ 売上高-1.6億円、営業利益-1.0億円

### 2020 1-3Q実績

#### <前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内横ばい、輸出減収)  
◆ 固定費減少3億円  
◆ 売上高-9.2億円、営業利益-6.0億円
- (FT) ◆ 増収(GE品堅調)  
◆ 棚卸評価損-1億円  
(原料価格低下)(マイナス影響)  
◆ 固定費増加1億円  
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス影響)  
◆ 売上高+3.8億円、営業利益+0.4億円
- (合計) ◆ 売上高-5.4億円、営業利益-5.6億円

# ESGへの取り組み

## ◆ ESGインデックス等

- 2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に4年連続認定
- 2020年6月 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定  
FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に選定
- 2020年8月 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 提言への賛同を表明
- 2020年10月 「統合レポート2020」を発行  
[https://www.nissanchem.co.jp/ir\\_info/archive/ar/ar2020.pdf](https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2020.pdf)
- 2020年11月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に3年連続で選定
- 2020年12月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に2年連続選定
- 2021年1月 温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定  
中期経営計画Vista2021(2016-2021年度)での目標:  
2021年度までに、2011年度比 20%削減 → 2019年度の段階で、2011年度比 27%削減を達成済  
新長期目標:2030年度までに、2018年度比 30%削減

温室効果ガス(GHG)排出量(CO2換算、千トン)

年度	2011	2018	2019	2021	2030
中期経営計画Vista2021	-	-	-	359	-
実績	448	363	327	-	-
新長期目標	-	-	-	-	254

## ◆ ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)  
社外取締役を1名増員し、3名体制へ(取締役は計9名)

## ◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

- 2019年8月 「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中50社に2年連続選定

## ◆ ディスクロージャー優良企業を受賞

- 2020年10月 証券アナリスト協会「ディスクロージャー優良企業選定」にて化学・繊維部門の第1位に初選定

# 2020予想(2020年11月12日発表、今回変更なし)

	2019実績							2020予想 (2020/11発表)							(億円)
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	
売上高	487	478	965	415	688	1,103	2,068	493	452	945	447	703	1,150	過去最高	2,095
営業利益(1)	93	87	180	35	171	206	386	98	82	180	42	181	223	過去最高	403
営業外損益	7	-1	6	5	3	8	14	6	-4	2	5	1	6		8
経常利益(1)	100	86	186	40	174	214	400	104	78	182	47	182	229	過去最高	411
特別損益(2)	9	0	9	0	1	1	10	0	11	11	0	5	5		16
純利益(1)(3)	78	67	145	31	132	163	308	76	63	139	37	138	175	過去最高	314
EBITDA(4)	116	111	227	63	202	265	492	121	107	228	-	-	279		507
EPS(円/株)(1)	53.13	45.62	98.75	21.18	90.16	111.34	210.09	52.38	43.58	95.96	-	-	121.60		217.56
配当(円/株)	-	-	42	-	-	48	90	-	-	46	-	-	52		98
配当性向(%)	-	-	-	-	-	-	42.8	-	-	-	-	-	-		45.1
配当総額	-	-	62	-	-	69	131	-	-	66	-	-	75		141
売上高営業利益率(1)	19.2%	18.2%	18.7%	8.4%	24.9%	18.7%	18.7%	19.9%	18.1%	19.0%	9.4%	25.7%	19.4%		19.2%
ROE	-	-	-	-	-	-	16.9%	-	-	-	-	-	-		16.6%
為替レート(円/ドル)	110	107	109	109	109	109	109	108	106	107	105	105	105		
原油(JCC)(ドル/bbl)(5)	72	66	69	66	68	67	68	31	41	36	-	-	44		

(1) 2019年3Q・4Q:クインタック償却費修正(p2参照)

(2) 2020予想(2020/11発表):投資有価証券売却益計16億円

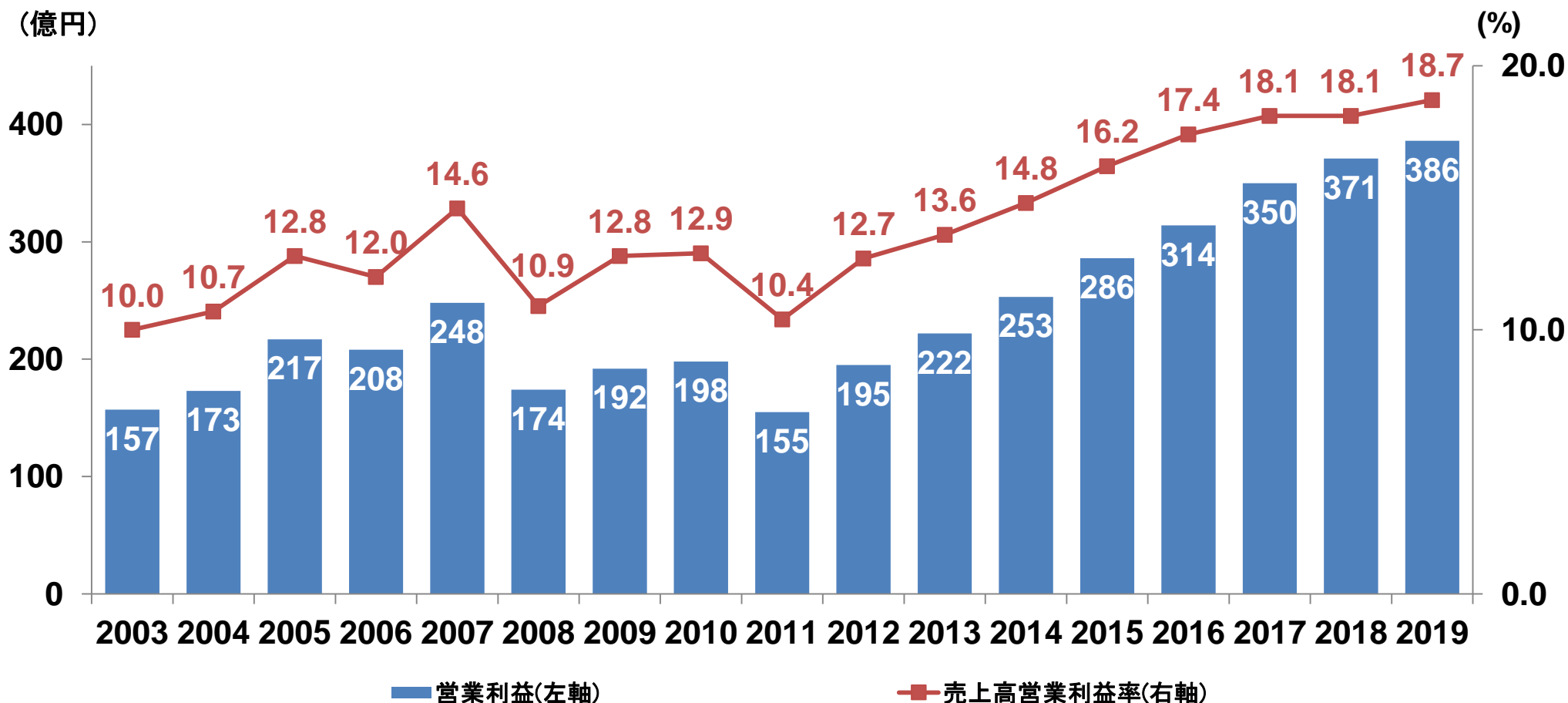
(3) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(4) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(5) 実績は財務省貿易統計ベース

## 当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持  
(2003年度以降17年連続10%以上)



## 当社の特徴- (B) ROE

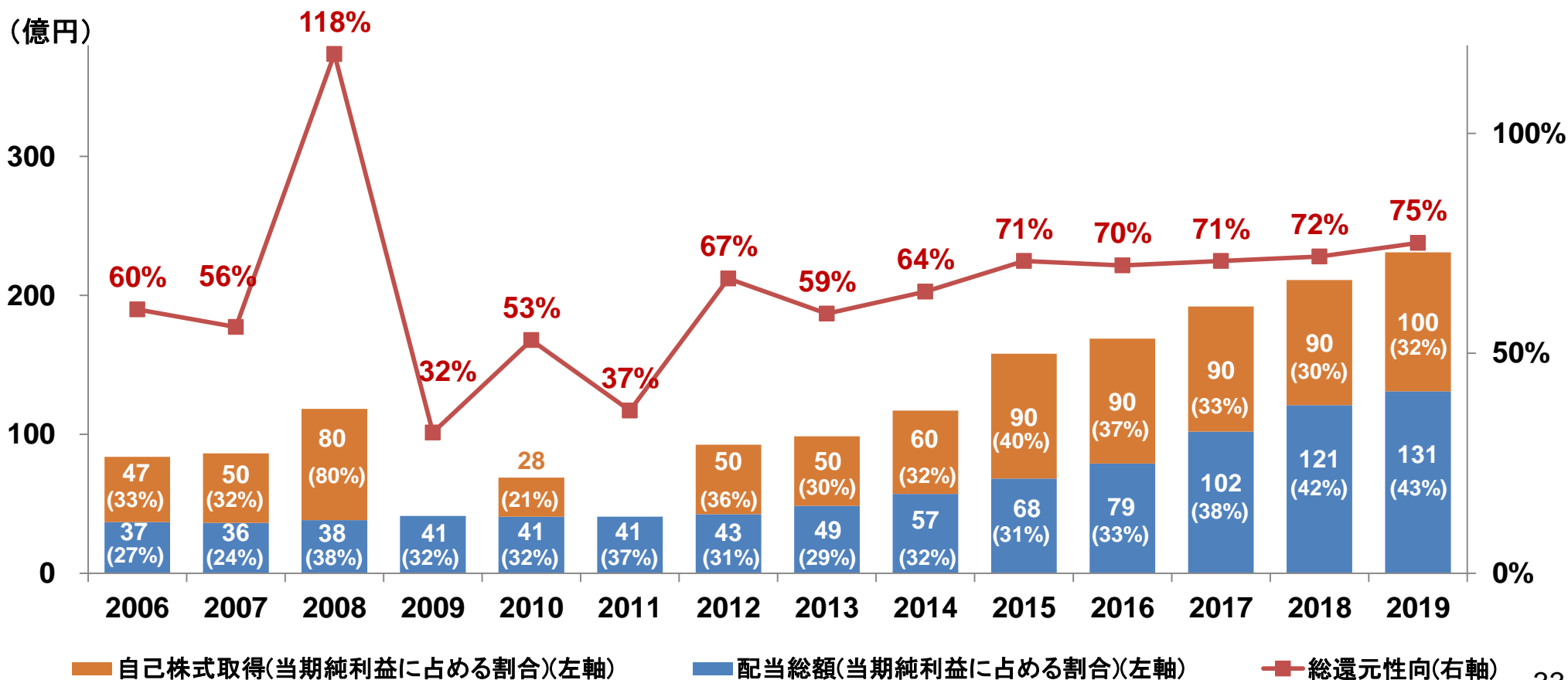
- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2019年度実績は16.9%





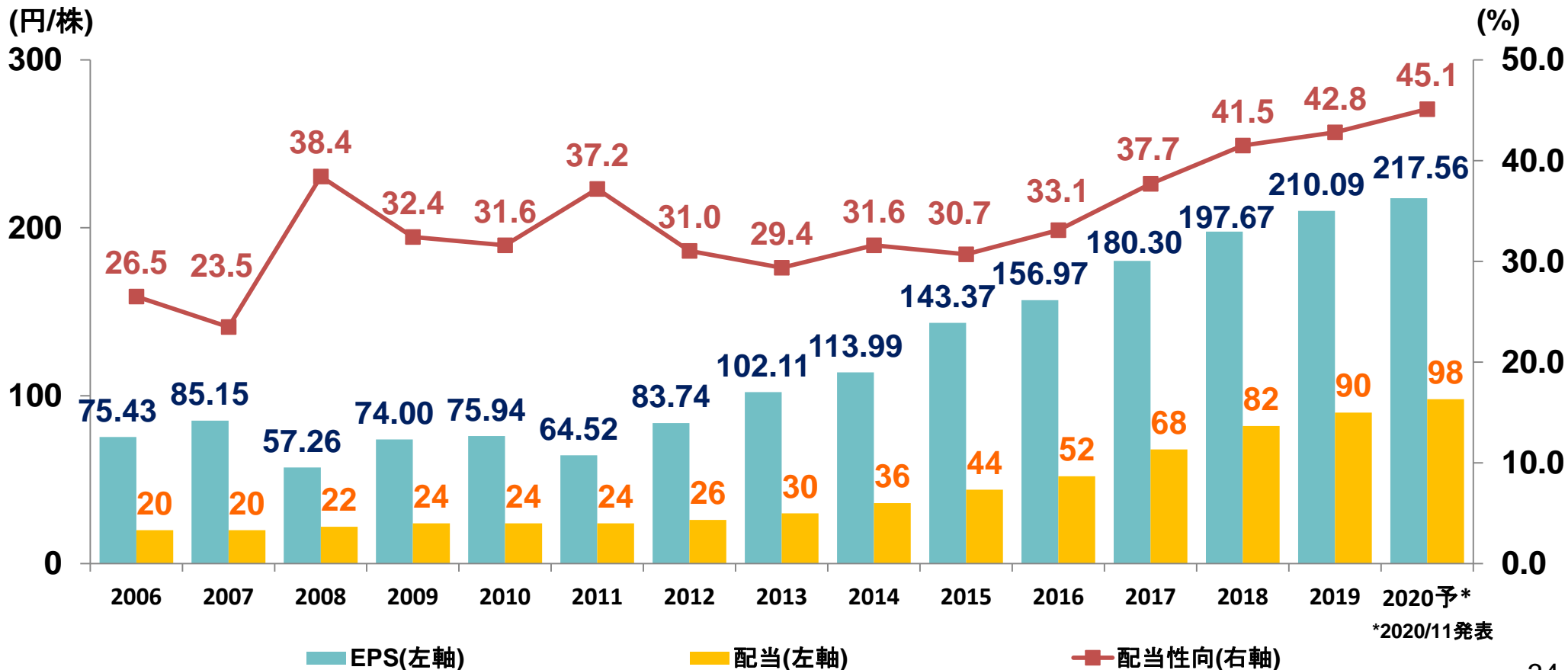
## 当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2019年度実績は75.1%



## 当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2018年度実績41.5%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では  
2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2019年度実績は42.8%



# 当社の特徴- (E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-19年度取得総額825億円、4,089万株(取得開始前発行済株式の21.8%)
- ◆ 2006-19年度取得株はすべて消却済

## 2006-2019年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く  
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	40,886
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	90	100	825
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	41,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	149	146	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	72	75	

## ◆ 取得

年度	2017			2018			2019			2020	
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上実績	2021年2月8日~4月30日*
自己株式取得総数(千株)(1)	1,304	988	2,292	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334	800(上限)
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	50	40	90	60	40	100	70	30(上限)
自己株式消却総数(千株)	3,000	0	3,000	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000	

\* 2021年2月5日発表

## ◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

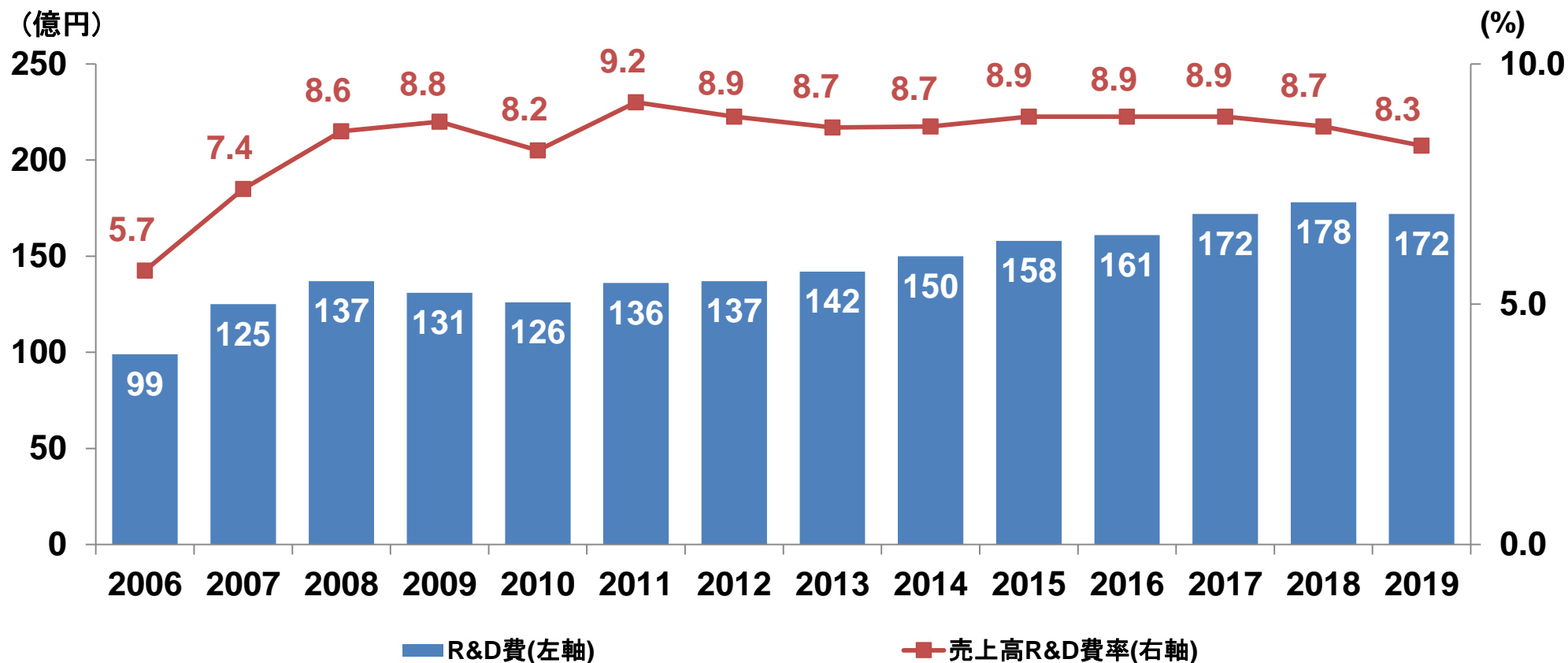
### 目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

(白紙)

## 当社の特徴- (F-1)研究開発

- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員

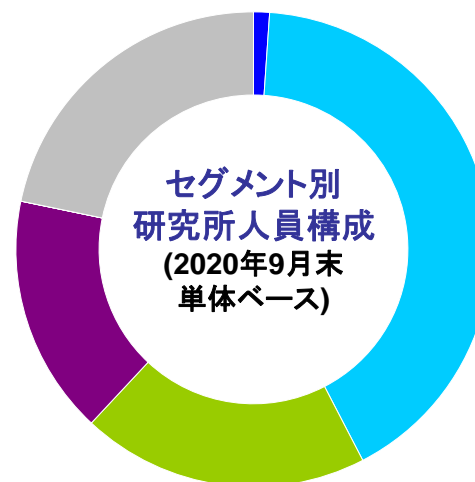
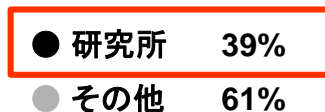
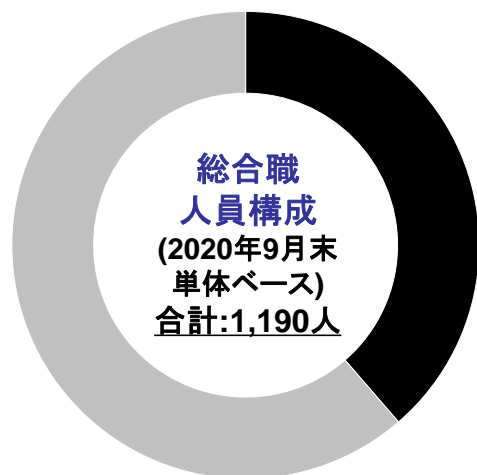


# 当社の特徴- (F-2)研究開発

## ◆セグメント別研究開発費

セグメント	2019年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益* (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	343	13	3.8%	4	1.2%
機能性材料	655	170	26.0%	77	11.8%
農業化学品	640	193	30.2%	46	7.2%
医薬品	70	9	12.9%	25	35.7%
コーポレート他	-	-	-	20	-
その他共通合計	2,068	386	18.7%	172	8.3%

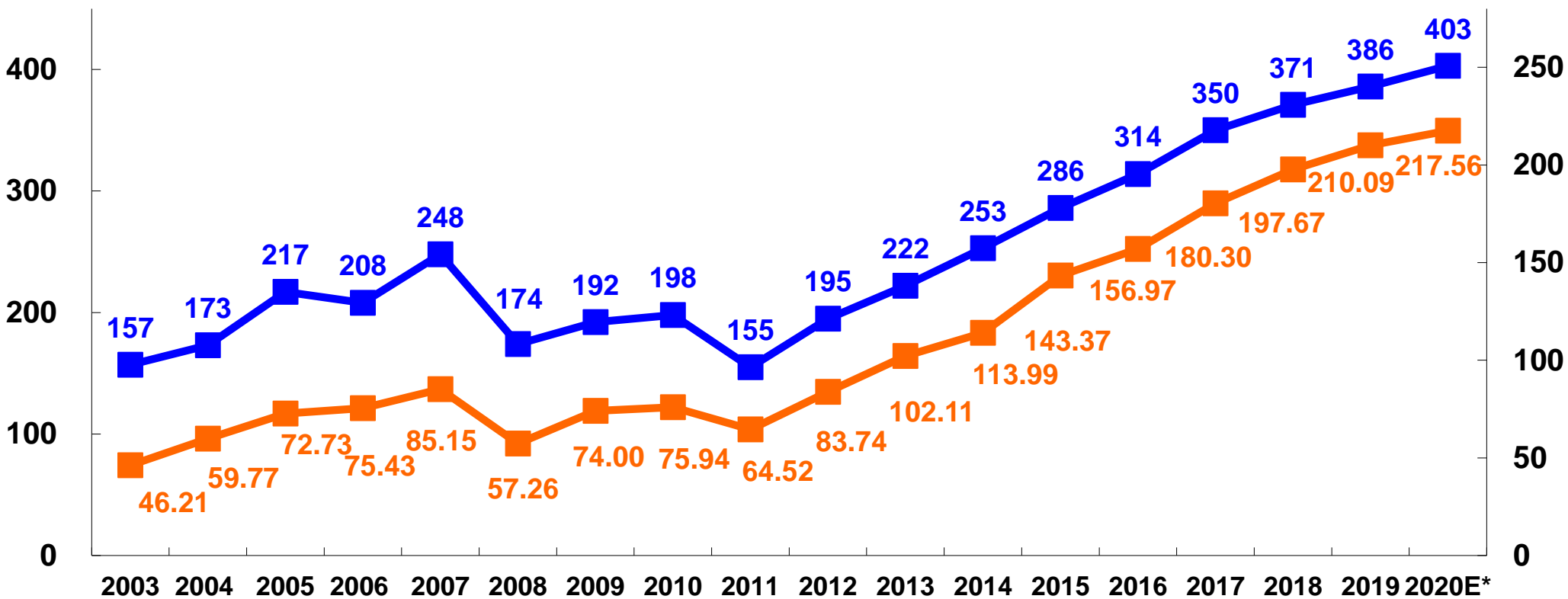
\*セグメント別営業利益は新方式にて記載 (p12参照)



# 長期業績推移

営業利益  
(億円)

EPS  
(円/株)



\*2020/11発表

# 長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,095
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	403
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	411
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	314
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	507
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	19.2%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	16.6%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	217.56
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	98
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	45.1%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	111
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	168
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	8.0%

\*2020/11発表



# 2017-2020 3Q 四半期別セグメント別売上高<sup>(1)(2)(3)</sup>

(億円)

	2017実績					2018実績					2019実績					2020実績			2020予想 (2020/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	88	343	74	73	83	81	89
ファイン	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	27	105	27	27	28	29	35
基礎	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	61	238	47	46	55	52	54
機能	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	171	655	171	175	192	175	177
農化	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	306	640	146	111	63	82	307
医薬	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	20	70	15	15	14	16	22
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	7	9	10	41	7	8	6	6	9
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	6	10	29	8	7	8	10	13
卸売	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	171	679	182	155	178	179	175
他	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	75	224	48	46	68	64	76
調整	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-143	-543	-143	-123	-161	-150	-143
合計	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	688	2,068	493	452	437	447	703

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

# 2017-2020 3Q 四半期別セグメント別営業利益<sup>(1)(2)(3)</sup>

(億円)

	2017実績					2018実績					2019実績					2020実績			2020予想 (2020/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7	-8	7	7	6
機能	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53	54	63	49	50
農化	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40	38	-13	-7	116
医薬	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1	1	0	1	5
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2	-1	-4	-4	-1
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2	2	3	4	6
卸売	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7	5	7	5	4
他	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0	0	4	1	5
調整	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-7	-3	-27	-8	-8	-12	-14	-5
合計	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	35	171	386	98	82	56	42	181

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(p12参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2019年3Q・4Q調整欄:クインテック償却費修正(p2参照)

# セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	317
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	698
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	646
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	68
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	691
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	234
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-559
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,095

\*2020/11発表

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	12
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	206
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	187
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	6
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	21
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-35
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	403

<セグメント資産 (D)>

2019
277
502
739
106
252
120
499
2,495

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	3.8%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	29.5%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.9%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	8.8%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.0%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	2.6%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	19.2%

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.7%
33.9%
26.1%
8.5%
8.3%
5.8%
15.5%

- (1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント
- (2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- (3) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(p12参照)

# 主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル                      テピック                      メラミンシアヌレート                      ハイライト</p> <p>◆基礎化学品                      メラミン                      尿素、アドフルー                      高純度硫酸                      アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤                      難燃剤                      塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤                      アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水）                      半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料                      サンエハー                      ARC®(KrF、ArF)                      OptiStack®(多層材料)                      NHC                      OPTIFOCUS                      エルソース</p> <p>◆無機コロイド                      スノーテックス                      オルガノゾル・モノマーゾル                      アルミナゾル                      サンコロイド                      セルナックス                      オイル&amp;ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド                      半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC)                      *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標                      タッチパネル用絶縁膜                      イメージセンサー用マイクロレンズ材料                      有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、                      特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤                      自動車用触媒、電子機器                      眼鏡レンズ用高屈折率ゾル                      フィルム用帯電防止                      シェールオイル・ガス採掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤                      タルガ                      パーミット                      シリウス                      ラウンドアップ                      アルテア</p> <p>◆殺虫剤                      サンマイト、マイトコーネ、スターマイト                      グレーシア</p> <p>◆殺菌剤                      ハルサー、イカルガ、グレートム                      (チフルサミト)                      ライメイ                      クインテック(キノキシフェン)                      ダイセン(マンセフ)</p> <p>◆動物薬                      フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい                      どうもろこし、さとうきび、米                      米                      非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園                      米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜                      野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜                      果樹、野菜                      果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ原薬 ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

# 免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



**Nissan Chemical**  
CORPORATION